

明治 銅ストマイ水和剤

塩基性塩化銅	58.8%
(銅として)	35.0%
ストレプトマイシン硫酸塩	12.5%
(ストレプトマイシンとして)	10.0%
鉱物質微粉、界面活性剤等	28.7%

農林水産省登録 第14471号

毒性 普通物 有効年限 4年 包装 1kg × 10袋

●特長

塩基性塩化銅とストレプトマイシンの混合剤で、細菌性病害に対して優れた効果を示します。

●適用病害および使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農業の総使用回数	ストレプトマイシンを含む農業の総使用回数
ごんややく	腐敗病 葉枯病	600～800倍	収穫30日前まで	6回以内	散布	—	6回以内 (種いもへの処理は1回以内)
たまねぎ	軟腐病		収穫7日前まで	5回以内			5回以内
ばれいしょ	疫病 軟腐病	100倍			植付前		1回
	そうか病 黒あし病		4回以内 (樹幹注入は1回以内)				
キウイフルーツ	花腐細菌病 かいよう病	600～800倍	休眠期～ 蕾出現前	4回以内	散布	4回以内 (樹幹注入は1回以内)	

(平成26年12月31日現在の登録内容)

●効果・薬害などの注意

- 石灰硫黄合剤などの強アルカリ性薬剤、マシン油乳剤、チオファネートメチル剤、及びタルク、ベントナイトのような吸着性の物質を含む薬剤とは混用しない。
- こんにやくに使用する場合、日中高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので、日中の散布はさけ、朝夕の涼しい時に散布する。
- もも、うめ、すももなどの核果類及びそ菜、特にはくさい等には薬害を生じるおそれがあるのでかからないようにする。
- 調製した散布液はそのまま放置せず、速やかに散布する。
- 高濃度で使用すると、作物に対してクロロシス(黄化現象)が生じることがある。これは作物の種類や環境条件によって差があり、特に高温多湿時におこり易いが、通常一週間位で消失してしまい、作物に対する実用上の影響は認められていない。
- キウイフルーツに使用する場合、新梢が10cm以上に伸長したのちの散布は薬害を生じるおそれがあるので、使用時期に注意する。